

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL. 19

開催地：あさぎり町

平成 19 年 8 月 23 日（木）、あさぎり町セキレイ館において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約 10 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

町内	10 名
町外	3 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・基本高水流量 7,000m³/s と計画高水流量 4,000m³/s の差分についてどのように洪水調節をするのか説明が無かったが、今日は洪水調節施設についての説明は無いのか。
- ・報告会などで出ている地元の方からの木や竹藪の除去の要望を全て実施しても、計画高水流量に影響しないのか。
- ・遊水地を上流に造っても、計画高水流量は変わらないのか。

【球磨川の治水対策について】

- ・銅山川の中流部の改修ができていない。
- ・田頭川に放水路を造ってもらったが、水が多いとき真ん中で仕切られた状態になって、草木が引っかかる。どうにかならないか。
- ・田頭川の放水路については、球磨川に出るところが狭いことが問題である。
- ・現在人吉地点で流せる流量と計画高水流量の差分の 400m³/s 分の土砂の撤去はいつまでにやる計画なのか。

【球磨川の環境について】

- ・昔は川はきれいで、木や竹藪も少なかった。今は河川敷に木がいっぱいあって、大水のたびにゴミが木に引っかかって汚くてしょうがない。大きな木を撤去するか等国土交通省はどう考えているのか。
- ・どこのダムも浚渫をしていない。へドロが流れてきて何日間か汚くなる場所がある。
- ・ツクシイバラもあまりに多くなると川に近づけなくなる。大事にする区間とそうでない区間とどこかで区切らなければいけない。
- ・サイクリングロードに木陰などをつくれればもっと利用が増えるのではないか。
- ・堤防に花を植えてはいけないといわれるが、どういう基準になっているのか。
- ・市房ダムができてから、明廿地区で岩盤が露出した。市房ダムができる前は礫や砂のきれいな砂浜や川原だった。砂浜などを復活する手立ては無いのか。
- ・向町河川公園の整備をお願いしたい。あさぎり町の夏祭りで駐車場を整備してもらったが、駐車しきれなかった。2～3年前に管理用道路を整備してもらったが、狭いので拡げて入りやすくしてほしい。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

